

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月30日更新

事務事業名	家族介護支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	米澤伸仁
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進			所属課	高齢者支援課	担当者名	樋口良平
	施策の柱	50	高齢者支援体制の充実			所属班	包括支援センター班	(内線)	2143
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	介護保険法合志市高齢者の家族介護支援実施要綱	成果優先度評価結果	①
		11	3	5	10474 他			コスト削減優先度評価結果	-
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続、向上を図る。平成12年度より、地域ささえあい事業として開始。旧合志町では行っていなかったが、旧西合志町で行っていたので摺り合わせし、合併後も行っている。確実に地域住民の関心は高まり、高齢者を抱える家族の受講が毎年多くなってきており、定員オーバーする状況である。事業に求められる内容が高度化してきている。認知症に関する教室は、家族や不安を抱える高齢者にまで関心が高まっている。平成25年度から事業趣旨が同一である家族介護者交流事業と事業を統合し、名称を家族介護教室から家族介護支援事業に改めた。
【業務の流れ】	事業については、合志市社会福祉協議会に委託する。業務委託契約書作成、実績報告書提出されたあとに委託料支払い。
【主な予算費目】	委託料。
【意見や要望】	教室の回数、時間帯(夜間、休日)対応の要望があっている。同じ境遇の方との交流が図れるため今後も続けてほしい等の意見があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
社会福祉協議会が介護者を対象に介護の知識・技術を習得するため開催している教室の事業に対する委託料	高齢者を介護している家族等に対し、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識・技術を習得していただくための教室を開催する。事業については合志市社会福祉協議会に委託。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 教室の参加者数	人
→ イ: 教室の開催回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
介護認定者や高齢者を介護している家族介護認定者や高齢者を介護している近隣の援助者。	→ ア: 介護認定者や高齢者介護している家族数
	→ イ: 介護認定者や高齢者介護している近隣の援助者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
介護認定者や高齢者を介護している家族、近隣の援助者が介護方法・介護予防の知識、技術が習得できる。支援者同士の交流が図られる。	→ ア: 介護方法・予防の知識・技術を習得した人数
	→ イ: 支援者同士の交流が図られた回数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
意図が、介護認定者や高齢者を介護している家族、近隣の援助者が介護方法・介護予防の知識、技術が習得できるとしているため、介護の技術を習得した人数とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア 人		102	99	130	91	130	130	130	130
	イ 回		6	6	6	6	6	6	6	6
② 対象指標	ア 人		2,394	2,304	2,150	2,337	2,200	2,250	2,300	2,350
	イ									
③ 成果指標	ア 人		102	99	130	91	130	130	130	130
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円			738	236	15,678	406	
		都道府県支出金	千円			368	118	7,840	203	
		地方債	千円							
		その他	千円			416	472	8,842	216	
		繰入金	千円			368		7,840		
	一般財源	千円				119		206		
(A) 事業費計	千円		0	0	1,890	945	40,200	1,031	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	79	0	398	185	398	398	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	79	0	2,288	1,130	40,598	1,429	0	0	

事務事業名	家族介護支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 介護を必要とする人が増えるにつれ、介護に対する知識を習得しようとする人も増えている。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 介護を必要とする人が増えるにつれ、介護に対する知識を習得しようとする人、同じ課題を抱える介護者間交流を図りたいと思う人が増えてきているため。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 介護方法・介護予防の知識、技術を習得し及び認知症に対する知識を習得するために、継続して開催しているため向上の余地は無い。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 家族介護教室を他で実施している事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委託して事業を行っており、必要最小限の事業費にて行っているため削減の余地は無い。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委託で行っているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 適宜、会場を旧町単位で実施し、且つ無料で実施している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 専門的知識を有する事業者に委託しているが、行政も積極的に参加している。

3 評価結果の総括 (CHECK)

介護の知識・技術の習得に繋がる。また同じ境遇の人と交流できるため参加者の満足度が非常に高い。引き続き実施していきたい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						